



事務局 町田地区労
八柳 ひろ子

2025年12月号

< 25年11/4 町田市との懇談の報告 >

16名+東京社保協事務局長の1名傍聴、
市の担当者6名。

再要請の3項目を1時間懇談。

1) 「生活保護の判決を踏まえ、減額分の
支給と利用者への謝罪等を国に要請を」
は、厚労省専門委員会が2013年の減額改
定を再度やり直す案が出ているため、
再度、国に要請するよう強く申し入れた。

2) 「大規模学童保育クラブの改善を」：
学童の利用者は増え続け、さらに統廃合
で大規模化し児童数が150人を超える
施設が14か所。

児童1人当たり1.65㎡の国の基準が
狭すぎる、学童の施設でない教室利用へ
の移動や清掃など指導員に負担がかかっ
ている。

定員以上に申し込みがあった場合は随時、
教室利用のため、待機児童はいないとの
回答に、基準以上の人員配置を要望した。

⇒右へ続く

12月7日（日）13時半～14時半

第2回市民パレート：原町田わかば公園

出発し、市役所付近解散

*各団体の旗やプラカードなど持参

⇒3) 市内各地で市民不在の公共事業が進ん
でいます。「芹ヶ谷公園再整備基本計画」
は、市民団体がアンケートを実施し、
市の計画に賛同していない人が大半。
また「設場所をがけ地から平地へ変更を
求める署名」が1万人以上集まったが、
市は無視し、
ほんの少数意見を取り上げている。

野津田公園「上の原広場の大型バス駐車
転回場」計画について、
市は防災のためにと説明。当初説明と
まったく違うと抗議したが時間切れに。

*結果、要請項目へはゼロ回答、市民の
切実な要求に背を向ける姿勢。
要請項目ごとに引き続き運動を進め
何度も訴えることを確認した。

*懇談について、「何度も同じ質問や
詰問口調があった場合、今後の懇談は
しない」との広聴課長の説明。

今までは「その場での懇談は中止」との
注意でしたので、懇談後5人で抗議
に行きました。「いつもの決まり事」
とのこと相手にされなかった。年々懇談
について市民に厳しい態度のようです。

次回幹事会 1月13日（火）18:30～

中央公民館 学習室6

* 12月幹事会は休み